

基本課題1 男女共同参画を推進する教育・学習の充実(課題1～3)

課題1 学校等における男女平等の精神をはぐくむ教育の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H24年度の審議会における意見・評価	
1	保育所、幼稚園等の指導計画及び事例の点検と改善	行事、遊びの指導における事例確認のための職員ミーティング	子育て支援課	<p>【実施対象】保育所長及び保育士</p> <p>【内容】保護者(特に父親)が参加しやすい行事開催日の設定やプログラム等について、職員ミーティングを開催し定期的に確認する。</p> <p>【工夫すること】土日の行事開催など</p> <p>【目標値】職員ミーティング年2回実施</p>	<p>【内容】</p> <p>行事を土曜日に開催するなど、保護者(特に父親)が参加しやすい日程に配慮し、また、あらかじめ仕事の日程調整ができるよう、年間行事予定表を年度当初に配布した。</p>	<p>【評価理由】</p> <p>全ての保育所で定期的にミーティングを開催(年2回以上)し、行事や遊びの指導における事例確認を実施した。</p>	A			A
2	小中学校の指導計画及び事例の点検と改善	男女平等教育実践活動への支援	学校教育課	<p>【実施対象】市内小中学校教職員</p> <p>【内容】学校訪問時に具体的な事例などを紹介しながら、男女平等の視点から教育活動を見直し、改善を図るように指導・助言を行う。</p> <p>【工夫すること】男女平等の視点を具体的に示しながら教育活動見直し・改善への意識の高揚を図る。</p> <p>【目標値】市内の全小中学校(33か校)で指導を行う。</p>	<p>【内容】</p> <p>学校訪問時、指導主事が各校の教職員に次のことを指導した。</p> <p>①児童生徒の発達段階に応じた性指導の実施</p> <p>②男女平等意識を育む人権教育の実施</p> <p>③男女平等の視点による教育活動の見直し・改善</p>	<p>【課題等】各校が男女平等の視点で教育活動の見直し・改善を図れるように、引き続き教職員への指導・助言を行っていく必要がある。</p>	A			A

課題2 男女共同参画意識を高める様々な学習機会の提供

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H24年度の審議会における 意見・評価	
3	男女共同参画意識の普及	男女共同参画に関する各種研修会等への参加の促進	市民窓口課	市民に各種研修会等への参加を呼び掛け、人材育成を図る。 【実施時期】8月25日(土) 【実施対象】三条市に在住及び在勤 【定員】15名 埼玉県嵐山で開催されるヌエックへ参加を呼びかける	【実施時期】平成24年8月25日(土) 【参加者数】10名(女性7名、男性3名) 【アンケート結果】大変よかった、よかったが70%	【評価理由】 今年度はバスが大きかったため定員15名としたが、結果10名の参加だった。 アンケートの結果を受け、次年度計画をしていきたい。	B		アンケート内容等が好評だったこと、参加者が増加したことから、A評価とする。	A
4	学習参加者の市民活動への参画の支援	市民活動団体に関する情報の提供	地域経営課	【事業名】地域づくり応援塾 【実施時期】未定 【実施対象】市民 【内容】市民パワーの更なる活用を図り、新しい担い手を育成するために、まちづくりに対する認識を高め、参画者を増加し、より高率な活動とするための人材育成を図る。 【工夫すること】男女が協働で参画できる内容にする。	【実施時期】平成25年2月9日及び23日 【参加者数】53人(男性46人、女性7人) 【内容】地縁団体の組織運営の課題解決の方法について考えるとともに、志縁団体のマッチングを図ることで両者の取組効果の拡大とまちづくり活動の促進を図るため、中間支援組織NPOさんじょうと連携し、2日間の連続講座を開催した。 第1回 2月9日 組織運営と若返りの方法、団体間の協働 第2回 2月23日 他団体との協働による活動のすすめ	【評価理由】 市民の主体的な活動をすすめるにあたり、昨年度より若干ではあるが女性の参加者が増加したため。(昨年度女性参加者数5名) 【問題点・課題等】 講座の参加者のうち女性が圧倒的に少ないことから、さらに女性の積極的な活動参加を促したい。	B			B
			市民窓口課	セミナー等の受講者が市民活動できるよう情報提供をするとともに、セミナー受講後、アンケートを実施し、市民活動へ参画しているか調査する。 また、ひとひとフォーラムの際にパンフレット等で、市民団体の紹介を実施する。	ひとひとフォーラムのプログラムに市民団体の紹介を行う。 また、女性のためのステップアップ講座の事後アンケート(3か月後)を実施し、市民活動への参画を確認した。 実施時期:12月 回収率:55%(29人中16人) 受講後の市民活動への参画:3名	【評価理由】計画どおり実施した。講座受講後、市民活動に参画した受講生を確認した。 【問題点・課題等】 アンケートの意見を受け、次年度の計画を検討していきたい。	A			A

課題3 メディアにおける男女共同参画の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課	市民窓口課所見	H24年度の審議会における意見・評価	
							評価			
5	メディアを読み解き発信する能力の育成	「メディア・リテラシー講座」の開催	市民窓口課	出前講座にメディア・リテラシー講座のメニューに加えるとともに、FM等を活用し周知を図る。	「男女共同参画出前講座」に「メディアと賢くつきあうヒント」を掲載した。 講師：新潟日報社 与口幸子さん	出前講座に登録したが、要望はなかった。FMにて、周知をした。	A			A
6	市の作成する広報紙・出版物等における性差別につながらない表現の推進	広報さんじょう記事における性別による固定的役割分担意識の解消	政策推進課 関係各課	広報さんじょうで掲載するイラスト等については、性別による固定的役割分担をイメージされないように選択する。 【実施対象】広報紙作成業務委託先業者 広報紙作成業務委託先業者がイラストを作成する場合は、性別による固定的役割分担をイメージされないイラストにするよう、事前に指示する。 * 刊行物の作成にあたって(職員用手引)を参考とする。	【内容】広報紙作成業務委託先業者がイラストを作成する場合は、性別による固定的役割分担をイメージされないイラストにするよう、事前に指示し、紙面で確認した。	【評価理由】 確実に実行することができた	A			A
		男女共同参画の視点に立った広報紙、出版物等の確認	市民窓口課	広報紙や出版物等について、男女の人権を尊重した適切な表現であるか確認し、必要に応じ指導助言する。	広報紙等で不適切なものはなかった。		A			A